

ブラインドサッカー体験スクール



瞳を閉じてわかったこと 声掛けの大切さ、友達を信じること・・・

■日時： 2015年6月20日(土)14:00～16:00
受付13:30～ ***中学生～大人(20名)**

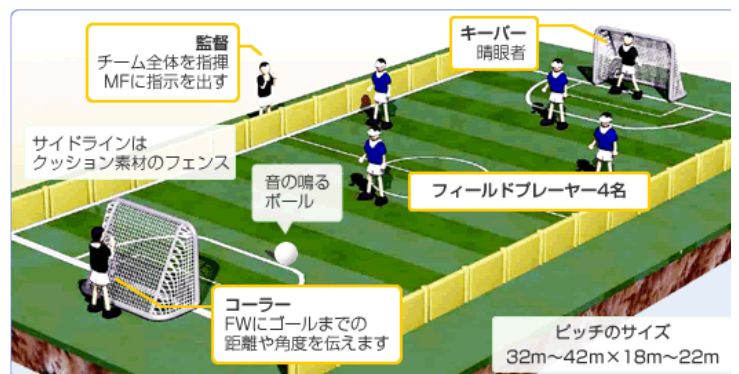
■会場： 柏市中央体育館 アリーナ (柏市柏下 73 04-7164-9573)

■対象： 小学生(50名)

■参加料： 無料

◆事前予約・先着順◆

090-3428-5328



ハンディキャップを持っていて障害者と呼ばれている人たちに対して「かわいそう」や「少し近寄り難い」という印象ばかりを持っていました。ですが、**障害者という枠組みは私たちのような健常者が作ってしまっているんだ**と思いました。
(大学生)

ブラインドサッカーを通じて、普通にぶつかりあったりできることによってその人達は**目の見えない人と見える人の壁を超えている**と思いました。
(大学生)



「たいへん、助けてあげなければ」から「すごい、カッコいい!」という今までの**障害者に対する見方(捉え方、概念)の転換**は素晴らしいと思いました。
(小学校5年担任)

目の前が見えなくて怖い! だけど**声を掛け合い、助け合えば怖くない**ということが分かった。
(小学校3年生)



チームワーク

目が見えない状況から積極的に仲間とコミュニケーションをとります。

自分がどの場所にいるのかわからなくて大変でした。でもかけ声で分かったので**協力することは大切なんだなあ**と思いました。
(小学校5年生)

初めは歩くことさえ怖かったのに最後は「右」「左」と言いながらやって怖くありませんでした。**友達を信じれば大丈夫なんだなあ**と思いました。
(小学校5年生)

ボランティア精神

ブラインドサッカー体験を通じて、積極的に人の力になろうとする姿勢を学びます。

障害者理解

視覚障害者の選手と接することで障害者=特別ではないことに気付きます。

ブラインドサッカー参加者の声

個性の尊重

個性(状況)を認識した上で、自分が何ができるか考えます。

コミュニケーションの重要性

コミュニケーションの取り方やタイミング等、その本質について考えを深めます。



実際に試してみると暗くてとてもこわかったし、何がどこにあるのかわからなかったです。**友達に声をかけてもらったりして、心が明るくなった**ような気がしました。
(小学校3年生)

◆持ち物

運動のできる服装・体育館シューズ・飲み物
タオル・着替え

◆申込み方法

- ・ 下記申込書をFAX、またはHP・メール・お電話にてお申し込みください。
- ・ 当日 13:50 までに直接会場へお越しください。

◆お問い合わせ・キャンセル

ワズ大隣(おおどなり)090-3428-5328 まで

障がい理解推進チーム Wa's (ワズ)とは

障がいに対する理解や関心を高め、笑顔があふれる地域づくりを目的に、イベントや講演会などの啓発活動を展開する市民団体です。平成 24 年設立 代表:大隣裕子
柏市民公益活動育成補助金交付団体
地域づくり団体千葉県協議会登録団体

TEL 04-7176-9188 FAX 04-7171-2978
was-kashiwa@jcom.home.ne.jp
<http://was-kashiwa.jimdo.com/>

※ご希望が多ければ、中学生や保護者の体験も検討いたします。お問い合わせください!

ブラインドサッカー体験スクール申込書

FAX 04-7171-2978

代表者氏名				連絡先(電話番号)			参加人数 名		同伴者 名	
氏名	性別	学年	サッカー歴	氏名	性別	学年	サッカー歴			
1	男・女	年	年 月 日		男・女	年	年 月 日			
2	男・女	年	年 月 日		男・女	年	年 月 日			
3	男・女	年	年 月 日		男・女	年	年 月 日			